

日商エレクトロニクス標準BPアセット リリースノートv1.1.1

日商エレクトロニクス株式会社

2021/04/14

目次

- ❖ 変更の概要
- ❖ 修正・追加ファイル
- ❖ 機能追加
- ❖ 不具合修正・その他
- ❖ カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法

変更の概要

- ❖ オブジェクト機能追加
- ❖ オブジェクト不具合修正・説明文修正

修正・追加ファイル

フルパッケージをインポートせず、修正の入ったファイルのみをバージョンアップしたい場合は以下のxmlファイルを利用してください。

- ❖ BPA Object – NEEX – MS Excel.xml
- ❖ BPA Object – NEO – 文字列.xml

機能追加

- ❖ NEO - 文字列に「日時文字列の書式変換」「日時文字列の書式変換（コレクション）」追加
： 2020/1/1や20200101などのように扱いづらい書式になっている日時を表す文字列を簡単に任意の書式（2020/01/01など）に変更できる機能です。

- ❖ NEEX - MS Excelに以下のアクションを追加
 - Add Comment (Advanced)
 - Clear Comments
： コメントの追加対象セルに既にコメントがある場合を考慮した対応を可能にします。
 - Change ExcelLink
： Excel数式内に含まれる外部ブックへのリンクを変更してブック間コピーなどの操作をロボットが行ったときのリンク切れ問題を対処可能にします。
 - Evaluate Formula As Number
 - Evaluate Formula As Text
： 指定したExcel数式を実行した結果を取得できます。
データ量が多いExcelシートを読み込まずにSUMIFするといった使い方ができます。

不具合修正・その他

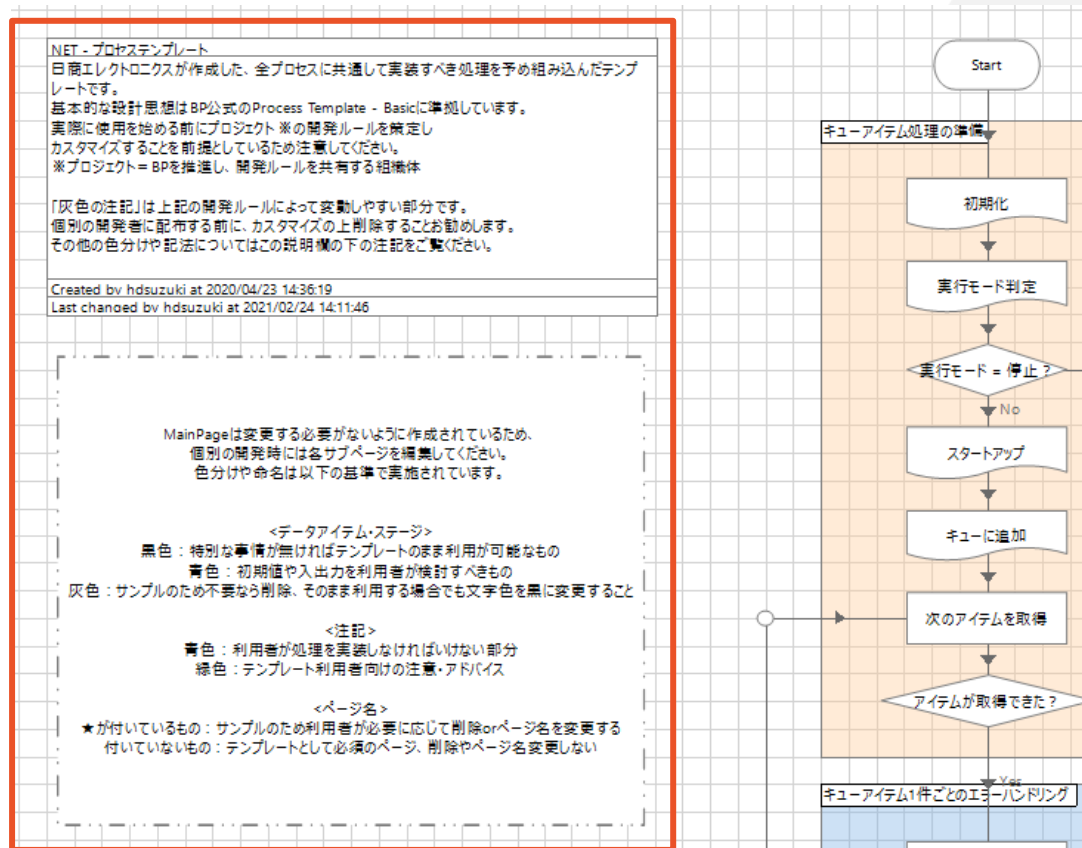
- ❖ NEEEX - MS ExcelでCreate PivotTable実行時にExcel側でエラーが発生する場合があった問題
: Excelのエラーを防ぐため一部の内部処理を変更しました。
利用側での考慮事項はありません。
- ❖ NEEEX - MS Excel内の一部説明文を修正
: 新機能追加に伴うそちらへの誘導などのみです。

**V1.1.0からのアップデートの場合、
V1.1.1のバージョンアップはインポートのみで完了です。**

**1.0.9以前からのアップデートの場合は、
以降のページもご確認ください。**

カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法(v1.1.0の修正)

既に環境に合わせたカスタムを実施済のプロセステンプレートに対し、新バージョンの修正点を適用する場合は以下の手順に従ってください。



- ①
メインページを開き、
説明欄(左上)の内容を
新バージョンのものに更新
- ②
その下の注記ステージ
(MainPageは～)
をコピーして貼り付け

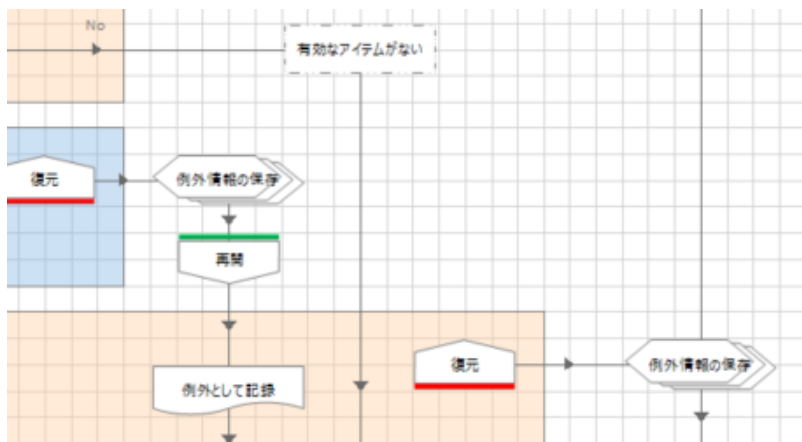
**V1.0.8以降からのアップデートの場合、
V1.1.0のバージョンアップは以上で完了です。**

**V1.0.7以前からのアップデートの場合は、
以降のページもご確認ください。**

カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法(v1.0.8の修正)

既に環境に合わせたカスタムを実施済のプロセステンプレートに対し、新バージョンの修正点を適用する場合は以下の手順に従ってください。

- ①「メインページ」の「例外情報の保存」ステージ(※2つあります)をそれぞれ開き、3行目に右図のようにExceptionStage()を[例外情報.ステージ]に代入する式を設定する



複数の計算のプロパティ

Name:

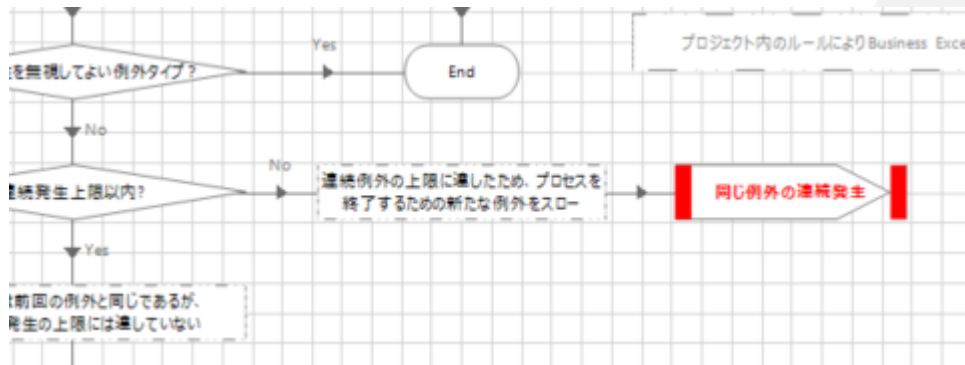
Description:

Expression	Store In
ExceptionType()	例外情報 タイプ
ExceptionDetail()	例外情報 詳細
ExceptionStage()	<input checked="" type="checkbox"/> 例外情報 ステージ

カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法(v1.0.8の修正)

- ②「例外として記録」ページの「同じ例外の連続発生」例外ステージを開き、エラーメッセージを以下のように修正する

[例外の連続発生上限] + 1 & "アイテム連続で" & [例外情報.タイプ] & "が発生したため、プロセスを終了しました。詳細:" & [例外情報.詳細]



数式

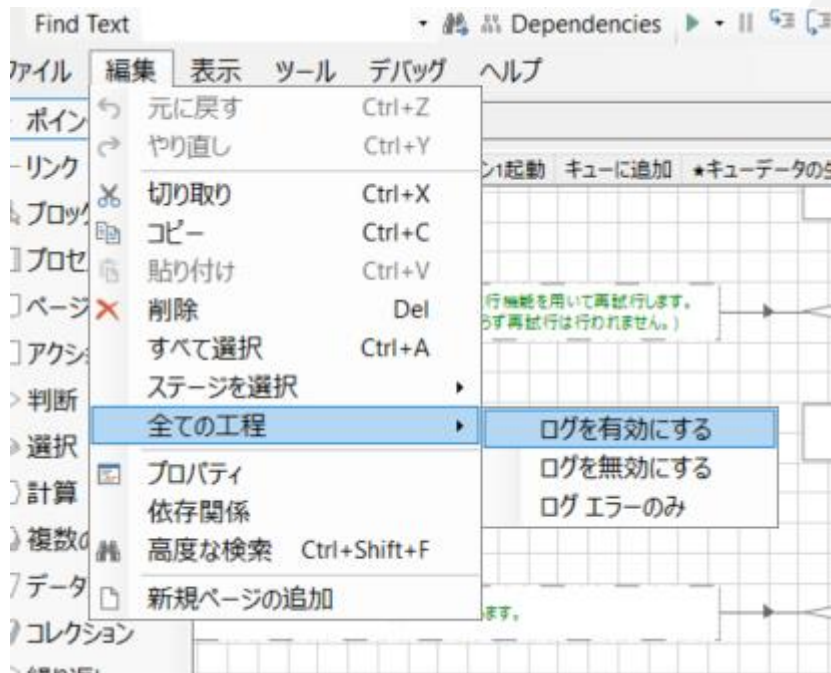
[例外の連続発生上限] + 1 & "アイテム連続で" & [例外情報.タイプ] & "が発生したため、プロセスを終了しました。詳細:" & [例外情報.詳細]

※連続で「前と同じ例外が起こったとき」発生する例外のため、上限回数+1アイテムがエラーとして記録されるのが想定される挙動です。

カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法(v1.0.8の修正)

③左上メニューから「編集」>「全ての工程」>「ログを有効にする」を選択する

※プロジェクトのルールにより、プロセスでもログ出力するステージを限定している場合はそのルールに則って修正する形でも問題ありません。



**V1.0.7からのアップデートの場合、
ここまででバージョンアップ対応は完了です。**

**V1.0.7を飛ばしてアップデートした場合、
以降のページもご確認ください。**

カスタマイズ済プロセステンプレートの修正方法（v1.07の修正）

既に環境に合わせたカスタムを実施済のプロセステンプレートに対し、新バージョンの修正点を適用する場合は以下の手順に従ってください。

- ・「初期化」ページの「業務設定の読込」ステージを開き、「シート名」の入力値を「業務設定」に変更する

The screenshot shows a software interface for configuring a process template. At the top, there are two dropdown menus: 'Template' (NEO - 汎用Excelフォーマット) and 'Function' (「項目名: 値」の読込). Below these are three tabs: 'Input', 'Output', and 'Conditions'. The 'Input' tab is active, displaying a table with the following data:

Name	Data Type	Value
ファイルパス	Text	[パス_業務フォルダ] & [相対パス_業務設定フ...
シート名	Text	"業務設定"
項目名のヘッダ文字列	Text	"項目名"
値のヘッダ文字列	Text	"値"
読込範囲(左上セル)	Text	"A1"
読込範囲(右下セル)	Text	"B1:000"

※設定ファイルの読込周りはプロジェクトごとにカスタムされることが多い部分ですので、既にこの部分がカスタムされていた場合には特に対応を行う必要はありません。